

### 事後評価総括表

平成29年3月 現在

事業名		西三河工業用水道2次改築事業		事業者名		愛知県																												
事業の概要	<p>西三河工業用水道事業は、河川表流水(矢作ダム)を水源として衣浦臨海工業地域の6市町(半田市、刈谷市、碧南市、高浜市、東浦町、武豊町)に一日計画給水量30万m<sup>3</sup>の工業用水を供給することとして、昭和41年10月に事業届を提出、昭和45年度から浄水場の建設、配水管路の布設など専用施設の建設に着手した。</p> <p>この頃、西三河内陸部では輸送機械と関連部品産業を中心に著しい経済成長が続き工業用水の需要が増大したが、その主水源である地下水は過剰揚水から地下水位の低下を来し、操業停止の恐れさえでいた。そこで、内陸部を建設中の西三河工業用水道事業の給水区域に編入することとし、昭和49年3月、衣浦臨海工業地帯の6市町に一日計画給水量20万m<sup>3</sup>、豊田市、旧三好町及び安城市の北部内陸地帯には同10万m<sup>3</sup>を供給することとして、事業届の変更を提出した。</p> <p>その後、内陸用地の開発とあまって、昭和53年、58年、61年と順次給水区域を拡大して現在に至っている。</p> <p>本事業の配水管路は、受注生産方式により順次拡張を進めてきた経緯もあり、浄水場から幹枝状に布設された単一管路形態となるため、バイパス管を整備することにより、大規模な漏水が発生した場合にも工業用水を安定して給水することを目的として改築事業に着手した。</p>																																	
	一次評価	需要の見直し	採択時		事後評価時																													
			<p>給水区域： 岡崎市のうち矢作川以東で一般国道1号以南及び矢作川以西の区域、半田市、碧南市、刈谷市、豊田市(H17.3.31における豊田市の区域)、安城市、西尾市(H23.4.1以前の西尾市及び吉良町の区域)、高浜市、みよし市、東浦町、武豊町、幸田町(9市3町)</p> <p>主な立地業種と需要量 (単位：m3/日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>立地業種</th> <th>計画水量(H22)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>輸送機器</td> <td>156,944</td> </tr> <tr> <td>電力・ガス供給</td> <td>26,112</td> </tr> <tr> <td>化学工業</td> <td>23,928</td> </tr> <tr> <td>窯業土石</td> <td>19,320</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼業</td> <td>14,928</td> </tr> <tr> <td>非鉄金属</td> <td>10,800</td> </tr> </tbody> </table> <p>給水量及び需要発生時期(平成23年度)：            ・計画給水能力 300,000m<sup>3</sup>/日            ・契約給水量 283,080m<sup>3</sup>/日            ・最大給水量 192,836m<sup>3</sup>/日</p> <p>・平成23年度現在、計画給水能力に対して94%の契約給水量となっている。</p>		立地業種	計画水量(H22)	輸送機器	156,944	電力・ガス供給	26,112	化学工業	23,928	窯業土石	19,320	鉄鋼業	14,928	非鉄金属	10,800	<p>給水区域： 同左</p> <p>主な立地業種と需要量 (単位：m3/日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>立地業種</th> <th>計画水量(H27)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>輸送機器</td> <td>159,356</td> </tr> <tr> <td>電力・ガス供給</td> <td>26,112</td> </tr> <tr> <td>化学工業</td> <td>24,240</td> </tr> <tr> <td>窯業土石</td> <td>19,320</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼業</td> <td>14,928</td> </tr> <tr> <td>非鉄金属</td> <td>10,800</td> </tr> </tbody> </table> <p>給水量及び需要発生時期(平成27年度)：            ・計画給水能力 300,000m<sup>3</sup>/日            ・契約給水量 280,920m<sup>3</sup>/日            ・最大給水量 178,200m<sup>3</sup>/日</p> <p>・平成27年度現在、計画給水能力に対して94%の契約給水量となっている。</p>				立地業種	計画水量(H27)	輸送機器	159,356	電力・ガス供給	26,112	化学工業	24,240	窯業土石	19,320	鉄鋼業	14,928
立地業種	計画水量(H22)																																	
輸送機器	156,944																																	
電力・ガス供給	26,112																																	
化学工業	23,928																																	
窯業土石	19,320																																	
鉄鋼業	14,928																																	
非鉄金属	10,800																																	
立地業種	計画水量(H27)																																	
輸送機器	159,356																																	
電力・ガス供給	26,112																																	
化学工業	24,240																																	
窯業土石	19,320																																	
鉄鋼業	14,928																																	
非鉄金属	10,800																																	
施設建設計画	<p>施設規模：            ・建設事業費 30,500百万円            ・各施設の規模</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貯水・導水工事費</td> <td>明治用水改築事業 12,730百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>矢作ダム直轄堰堤改良事業 2,770百万円</td> </tr> <tr> <td>浄水工事費</td> <td>安城浄水場自家発設備等 626百万円</td> </tr> <tr> <td>配水工事費</td> <td>バイパス管布設等 13,658百万円</td> </tr> <tr> <td>用地費</td> <td>管路用地取得等 28百万円</td> </tr> <tr> <td>調査費</td> <td>調査測量設計 688百万円</td> </tr> </tbody> </table>		施設	事業費	貯水・導水工事費	明治用水改築事業 12,730百万円		矢作ダム直轄堰堤改良事業 2,770百万円	浄水工事費	安城浄水場自家発設備等 626百万円	配水工事費	バイパス管布設等 13,658百万円	用地費	管路用地取得等 28百万円	調査費	調査測量設計 688百万円	<p>施設規模：            ・建設事業費 30,500百万円            ・各施設の規模</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貯水・導水工事費</td> <td>明治用水改築事業 12,730百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>矢作ダム直轄堰堤改良事業 2,770百万円</td> </tr> <tr> <td>浄水工事費</td> <td>安城浄水場自家発設備等 827百万円</td> </tr> <tr> <td>配水工事費</td> <td>バイパス管布設等 13,583百万円</td> </tr> <tr> <td>用地費</td> <td>管路用地取得等 61百万円</td> </tr> <tr> <td>調査費</td> <td>調査測量設計 529百万円</td> </tr> </tbody> </table>				施設	事業費	貯水・導水工事費	明治用水改築事業 12,730百万円		矢作ダム直轄堰堤改良事業 2,770百万円	浄水工事費	安城浄水場自家発設備等 827百万円	配水工事費	バイパス管布設等 13,583百万円	用地費	管路用地取得等 61百万円	調査費	調査測量設計 529百万円
	施設	事業費																																
貯水・導水工事費	明治用水改築事業 12,730百万円																																	
	矢作ダム直轄堰堤改良事業 2,770百万円																																	
浄水工事費	安城浄水場自家発設備等 626百万円																																	
配水工事費	バイパス管布設等 13,658百万円																																	
用地費	管路用地取得等 28百万円																																	
調査費	調査測量設計 688百万円																																	
施設	事業費																																	
貯水・導水工事費	明治用水改築事業 12,730百万円																																	
	矢作ダム直轄堰堤改良事業 2,770百万円																																	
浄水工事費	安城浄水場自家発設備等 827百万円																																	
配水工事費	バイパス管布設等 13,583百万円																																	
用地費	管路用地取得等 61百万円																																	
調査費	調査測量設計 529百万円																																	
費用便益分析	<p>総便益：50,305百万円            総費用：23,553百万円            費用便益比：2.14</p>		<p>総便益：66,779百万円            総費用：23,667百万円            費用便益比：2.82</p>																															
	<p>建設工程：            ・工期 平成25年度～平成34年度            ・進捗 0%(H23末)</p>		<p>建設工程：            ・工期 平成25年度～平成34年度            ・進捗(事業費ベース) 4.6%(H27末)</p>																															

## 事後評価総括表

二次評価	一次評価に掲げる変動要因の分析	<p>費用便益比が1.0を上回っていること、前回事後評価と今回事後評価で顕著な差異がみとめられないため、二次評価は実施しない。</p>
	事業計画に係る変更案の検討	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本改築は樹枝状に布設された脆弱な管路の補強を行うこと及び老朽化による圧力不足を解消することで、工業用水の安定供給を図る事業である。</li> <li>・安定的で持続可能な工業用水道の供給が地域経済の継続・成長に不可欠とされており、費用対効果も十分にあるため、本改築事業は妥当である。</li> </ul>	
公表	公表方法： 愛知県企業庁のホームページにて公表する。	